

I 基本目標

未来につなぐ 笑顔のつづき

都筑20（つづきはたち）。これまで地域・団体・企業の皆さまと行政とが力を結集し、にぎわいがあふれ、安心して健やかに暮らせる都筑区づくりを進め、まちが大きく発展しました。はたちの今、これまで築き上げてきた礎の上に、さらなるふるさとづくりを進めます。

区役所は、人と人が直接向き合う機会を持ち、皆が支えあい、安心して住みやすい地域づくりの実現に向け、地域課題の解決への支援を行うことにより、協働のまちづくりに取り組みます。

II 目標達成に向けた施策

施策1 まちがつながりにぎわう

地域のつながりを強める取組を支援します。

- ・「元気な地域づくり推進事業」地区の活動支援
- ・都筑区地域福祉保健計画「つづきあい」の推進

区制20周年を契機として様々な事業に取り組み、にぎわいを創出して、さらなるふるさとづくりを進めます。

- ・都筑の魅力を発信する「記念誌」「散策マップ」の発行
- ・将来を担う子ども（幼稚園・保育所・学校等）と連携した事業の実施
- ・地域特性を活かしたにぎわいづくり、メイドインつづきの推進

施策2 こどももおとなもみんなが輝く

生まれる前から学齢期まで、将来を担うこどもが健やかに成長できるよう切れ目のない支援をします。

- ・子育て支援「外遊びキャラバン隊」の開催
- ・赤ちゃんふれあい体験「こども達から親へのメッセージ集」の作成

地域での健康づくりを推進して、誰もがいきいきと活躍できる社会を目指します。

- ・夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の開催
- ・高齢者も障害者もみんなが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすための支援

施策3 安心して暮らす

災害時に、救える命を救うため、関係機関と連携した訓練や災害医療体制の充実を図ります。

- ・応急救命を強化する備蓄医薬品及び資機材の拡充

災害時に地域の被害を軽減する減災行動や地域の支えあいの取組を支援します。

- ・災害時要援護者支援事業「つづきそなえ」の推進
- ・自治会町内会向け減災研修会の開催

施策4 豊かな環境を引き継ぐ

魅力資源である緑道等を安心して快適に使い続けるため、自転車・歩行者の安全対策を検討します。

- ・自転車・歩行者安全事業計画案の策定

将来を見据えた都市づくりを進めるため、まちづくりの目標や土地利用の指針を検討します。

- ・都筑区まちづくりプラン素案の確定

施策5 共感と信頼の区役所づくり

職員一人ひとりが区民の皆さまの気持ちに寄り添い、共感し、行動することにより、信頼される区役所を目指します。



III 目標達成に向けた組織運営

おもてなしの行政サービスの充実

区役所チーム力の向上

地域・団体・企業の皆さまとの協働

施策 1

まちがつながりにぎわう

主な事業・取組

<p>地域のつながりづくり・縁づくりの推進 地域振興課</p> <p>「都筑でつながる」縁を強め、地域が主体的・継続的に地域の課題を解決するために、地域の様々な団体や人々が協力し合えるネットワークづくりや、地域やテーマごとの活動に取り組む担い手の発掘・育成、地域課題に迅速に対応する区職員による地区担当制の充実などに取り組むとともに、地域施設間の連携や地域情報の発信を強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「元気な地域づくり推進事業」地区の活動支援(7地区以上) ・区民テーマ提案型講座の実施(3講座) ・地区担当による地区連合定例会等への出席(通年) ・区民利用施設情報交換会の開催(2回) ★地域活動の情報を発信する広報紙の発行(年3回) ・自治会・町内会加入率の維持・向上(600世帯以上)
<p>都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」の推進 福祉保健課</p> <p>「顔の見える地域づくり」「幅広い区民参加」「支援が届く仕組みづくり」に取り組む第2期地域福祉保健計画「つづき あい」を推進するため、各地区で地域の福祉保健課題について話し合いの場を持ち、具体的な活動に結び付けます。 合わせて、第2期計画(平成23～27年度)の取組を踏まえ、第3期計画(平成28～32年度)策定に向けた検討を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとの実情に応じた地域懇談会の開催(全15地区) ・計画推進状況を掲載した情報紙の発行(年3回) ・地域福祉保健計画発表会の開催(2月) ★第3期計画策定に向けた検討(通年) ・災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」の着実な推進(全15地区)
<p>区制20周年「都筑20 未来につなぐ 笑顔のつづき」 区政推進課(全課)</p> <p>区制20周年を迎えるにあたり、区への愛着を持っていただき、将来に向けたふるさとづくりの新たなスタートとするために、この20年を振り返り、今まで築いてきた歴史・文化・コミュニティを活かし、地域・団体・企業の皆さまと協働して様々な事業に取り組むことで、にぎわいがあふれる笑顔の都筑区を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★記念映像の放映(4月) ★夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の開催(8月) ★幼稚園・保育所・学校等と連携した事業の実施(～11月) ★記念式典の開催、タイムカプセルの開封・封入(11月) ★記念誌、散策マップの発行(11月)
<p>魅力資源を活かしたにぎわいづくり 地域振興課</p> <p>都筑区の地域特性を活かした文化、スポーツ、国際交流、商業団体が取り組む地域のにぎわいづくりを推進するため、ドイツとのゆかりを活かした「ドイツクリスマスマーケットin都筑」の開催やプロスポーツチームの支援などに取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ交流事業の実施(通年) ・ドイツクリスマスマーケット in 都筑の開催(12月) ★パネル展や情報誌による商店街の紹介(通年) ・ロードレース大会の開催(3月) ・プロスポーツチームの支援(通年)
<p>「メイドインつづき」の推進 区政推進課</p> <p>区内の製造業・農業を活性化するため、製造業の持つ高度な技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な野菜果樹などの「メイドインつづき」をPRし、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メイドインつづきフェスタの開催(7月) ・技術展示会への出展拡大(2月) ・区民に対して地産地消を広げる団体の育成・支援(通年) ・都筑野菜朝市の開催(通年) ・地産地消ホームページ活用及び更新(通年)

施策 2

こどももおとなもみんなが輝く

<p>子育てへの支援 こども家庭支援課</p> <p>将来を担うこどもが健やかに成長できるよう、妊娠期からの子育て支援の充実、保育所待機児童解消の継続、育児不安を抱える養育者への支援等により、子育て中の養育者を必要な支援へつなげるとともに、子育て世代を地域全体で支援する活動を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦への子育て準備応援講座「はっぴいまま」開催(12回) ・転入者向け「あつまれ！都筑のニューフェイス」開催(16回) ★区内の公園で「外遊びキャラバン隊」の開催(20回以上) ・保育コンシェルジュの出前講座(通年) ・入所前サポートの実施(8月) ・つづきこガイド(9月)、チルコロマップ(2月)の発行 ・児童虐待防止の啓発事業(11月)
<p>青少年への支援 地域振興、こども家庭支援課</p> <p>青少年の健全育成の取組に加え、不登校やひきこもり等の困難を抱える青少年を支援するため、支援事業の実施、関係機関との連携強化に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はあとdeボランティア事業の実施(7、8月) ・つづきウォーク&フェスタの開催(11月) ・学習支援事業実施(通年) ・つづきMYプラザやよこはま北部ユースプラザ等との連携強化(通年)
<p>いのちの教室 こども家庭支援課</p> <p>児童・生徒が、生命の尊さ、こどもを生き育てる喜びを実感し、親への感謝の気持ちを高めるために、小学校6年生、中学校1年生、2年生を対象にいのちの教室を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詩集トツキトウカYOKOHAMAを活用した命の授業実施(11小学校) ・赤ちゃんとのふれあい体験実施(4中学校) ★こども達から親へのメッセージ集の作成 ・保育園での職業体験支援(8中学校)
<p>こども「租税教室」 税務課</p> <p>次代を担う児童生徒が税の意義や役割を正しく理解し、社会の一員として自覚を持っていただくことを目的に、小・中学生向けの「租税教室」を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施要望のある区内小・中学校を対象としたこども「租税教室」の開催(年間10回以上)
<p>高齢者の健康でいきいきとした生活の支援 高齢・障害支援課</p> <p>高齢者が健康でいきいきとした生活ができるよう、認知症予防等の介護予防講座を行うとともに、身近な地域活動の情報の充実を図ります。また、認知症の人が虐待や不適切な対応を受けるリスクが高いことから、講座や講演会等を通して認知症や高齢者虐待等に関する理解を深めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防講座(5回)、運動指導人材育成講座(8～9月) ・地域活動情報一覧の改定(2月) ★認知症への理解を深める普及啓発リーフレット作成(3月) ・認知症サポーター養成講座(通年) ・介護者向け高齢者虐待防止講演会の開催(12月) ★支援者向け高齢者虐待防止研修会の実施(1回)
<p>障害者と地域の顔の見える関係づくりの支援 高齢・障害支援課</p> <p>障害のある人もない人も住み慣れた地域で安心して共に暮らしていくため、地域との連携・交流を深めるイベントや防災訓練への参加を推進するとともに、地域作業所の活動を支援するための啓発等を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉農園、区民まつり等への障害児・者の参加(約700人) ・障害児・者と地域が連携した地域防災拠点訓練(14拠点)、安否確認・移動支援訓練(14拠点中10拠点) ★地域作業所の自主製品の販路拡大及び開発(通年)

★マークは平成26年度新規の取組です

主な事業・取組

健康づくりスタートアップ 福祉保健課 誰もがいきいきと活躍できる「健康寿命日本一」の都市を目指す「370万人の健康づくり」に基づく、区民一人ひとりの自主的な健康づくりを支援するために、保健活動推進員・ヘルスメイト・民間企業と協働して啓発を推進します。また、誰もが知っているラジオ体操を地域で定例開催されるよう働きかけることで、健康意識の向上、スポーツの振興につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業との協働による歯と食育のイベントの開催(6月) ・つづきヘルスアップフェアの開催(9月) ・つづきウオーク&フェスタを活用した健康啓発(11月) ★ラジオ体操講習会の開催(3回) ★夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の開催(8月)【再掲】
読書活動の推進 地域振興課 こどもから大人まで広く読書に親しんでいただくため、図書館・学校・地域活動団体等と連携して活動目標を策定し、区民への普及啓発等を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ★目標策定に向けた関係団体との懇談会の開催(8月) ★区の活動目標の策定(11月) ・啓発事業の実施(通年)

施策 3 安心して暮らす

区災害対応力の強化 総務、福祉保健課 区の災害対応力を強化するため、区防災計画をもとに関係各機関と連携し、各種訓練や災害医療・帰宅困難者対策などの取組を進めます。また、救える命を救うために、重症者に応急救命処置を行う資機材等を購入し、災害医療体制の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した水防訓練(6月)、帰宅困難者対策訓練(10月)、医療に関する危機管理対策訓練(11月)の実施 ・区本部運営訓練の実施(9月、1月) ★備蓄医薬品及び資機材の検討(4~6月)、備蓄(10月)
災害に備える自助・共助の推進 総務、福祉保健、生活衛生、高齢・障害支援課 災害による被害を軽減するために、「自助」「共助」について啓発するとともに、区民一人ひとりの減災行動や地域の支えあいの取組を支援することにより、地域防災力向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会向け減災研修会の開催(3月) ・防災・減災講演会の開催(3月) ・災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」の着実な推進(全15地区)【再掲】 ・地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発(通年) ・障害児・者と地域が連携した地域防災拠点訓練(14拠点)、安否確認・移動支援訓練(14拠点中10拠点)【再掲】
安全で快適な暮らしの支援 生活衛生課 食中毒や感染症を未然に防止するための啓発や講習会を実施し、発生の際には被害拡大を防止するため迅速に対応します。また、ペットの飼育マナーや防災対策についても啓発することで、区民の安全で快適な暮らしを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・食品・環境・薬事関係施設に対する監視指導(通年) ・犬の飼い方教室の開催(1回) ・地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発(通年)【再掲】
生活・就労相談の取組を推進 保護課 区民の生活再設計のために、就労、健康管理、児童の学習などについて、関係各課・機関と連携し、支援の取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門員等によるジョブスポットを有効活用した就労支援(通年) ・横浜市健康診査受診勧奨等による健康管理支援(通年) ・寄り添い型学習等支援(通年) ・住宅確保(住宅支援給付金給付)支援(通年)
健康保険・介護保険等の適正な制度運用 保険年金課 生活に密接に係わる健康保険・介護保険等の制度を適正に運用するため、正確かつ迅速な資格管理と賦課に取り組むとともに、保険料収納率の向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納整理の人材育成と体制強化(通年) ・納付相談窓口の設置による滞納整理の強化(5月) ・保険料収納率区目標の達成(通年)

施策 4 豊かな環境を引き継ぐ

グリーンマトリックスをいかした自転車・歩行者安全対策 土木事務所 自転車・歩行者の安全を確保して、快適で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、自転車及び歩行者を対象にハード・ソフト両面から検討を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ★駅周辺の緑道、自転車歩行者専用道路における利用実態調査及び普及啓発の実施(7月) ★安全確保策の検討(8月~) ★都筑区まちづくりプラン改定素案への反映(2月) ★自転車・歩行者安全事業計画案の策定(3月)
「都筑区まちづくりプラン」の改定 区政推進課 都市計画マスタープラン全市プラン改定に合わせ、将来を見据えた都市づくりを進めていくため、平成25年~27年の3か年をかけて、まちづくりの目標や土地利用の指針となる都筑区まちづくりプランの改定を行います。改定にあたっては、区民の皆さまからの意見を踏まえながら進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ★素案確定(10月) ★都市計画審議会(1月) ★素案の意見募集(2月)
つづき緑アップによる緑地の保全・活用 区政推進課 環境創造局とプロジェクトを組み、区内の貴重な緑地の保全や農地活用を進めるための検討を行います。特に市街地に連たんした斜面緑地や南部地域のまとまった樹林地について保全するとともに、地域と連携した活用方を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ★川和市民の森開園記念式典(4月) ・区内での緑地保全(~H25年度)の報告及び「横浜みどりアップ計画」のPR(8月) ・(仮称)池辺市民の森の整備着手(11月~) ・(仮称)大瀬町農園付公園の整備着手(11月~)
つづき地球温暖化対策の推進 区政推進課 地球環境にやさしいライフスタイルへの転換を推進するため、節電・省エネ活動の実践を促すPRや活動支援を行います。また、電気自動車に蓄えられた電力の活用や、庁内カーシェアを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校、保育園及び庁舎での緑のカーテンの実施(5月) ・環境映画上映会の実施(8月) ・電力測定器の貸出(通年) ・EV電源供給装置の活用(通年)
ヨコハマ3R夢(スリム)プランの推進 地域振興課 ごみの減量とCO2排出量削減を目的としたヨコハマ3R夢プランを推進するため、市民に具体的な3R行動を実践していただけるよう、取り組みの必要性や成果などの情報を解りやすく提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・つづき3R夢週間(5月)の開催による集中的な啓発の実施 ・ヨコハマ3R夢プラン啓発活動の実施(年間50回) ・地域清掃活動の支援、不法投棄防止等の事業の実施(通年300回)

★マークは平成26年度新規の取組です

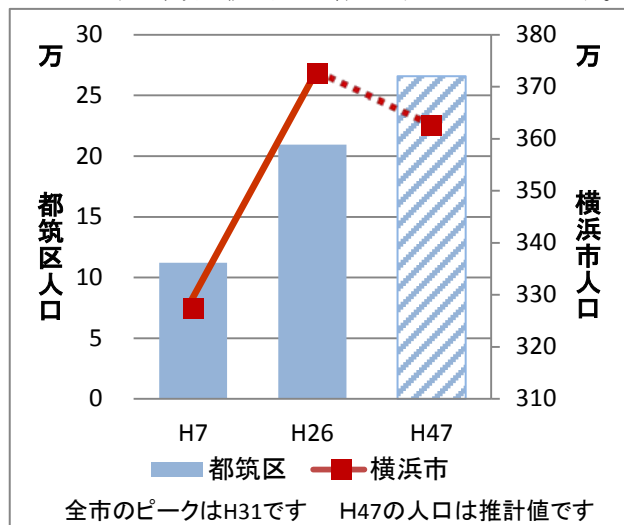
来庁者の満足度の向上	総務課(全課)	★タッチパネル式案内表示板の設置(4月)、区庁舎1階のサイン表示の改善(～6月) ・「CS向上年間取組目標」の策定・掲示(全13課5保育園、通年) ・接遇研修(5月)、窓口対応研修(10月)、窓口対応マナーのセルフチェック(10月、3月)
区民への広報・PRの充実	区政推進課	★広報よこはま区版のデザイン変更(5月号) ★PRボックスの効果測定(～8月) ★アンケートの実施及びデザインの修正(～12月)
適正な戸籍・住民登録事務の推進	戸籍課	・計画的なスケジュールに基づく実態調査の実施(通年)
迅速・適正な会計事務の推進	総務課、区会計室	・各課への定期的な情報提供(通年) ・経理事務の定期点検(全課) ・現金出納検査の実施(6課)

★マークは平成26年度新規の取組です

都筑区の現状

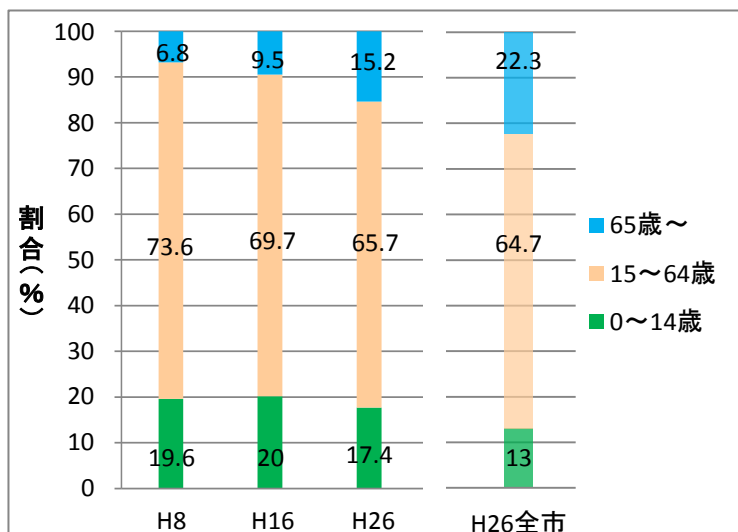
1. 人口増加が続くまち(20年間の人口推移と今後の推計)

都筑区の人口は、区が誕生した頃と比較すると約2倍に増えており、全市が平成31年に約373万人をピークとして減少するとされている中で、引き続き人口増加が見込まれています。



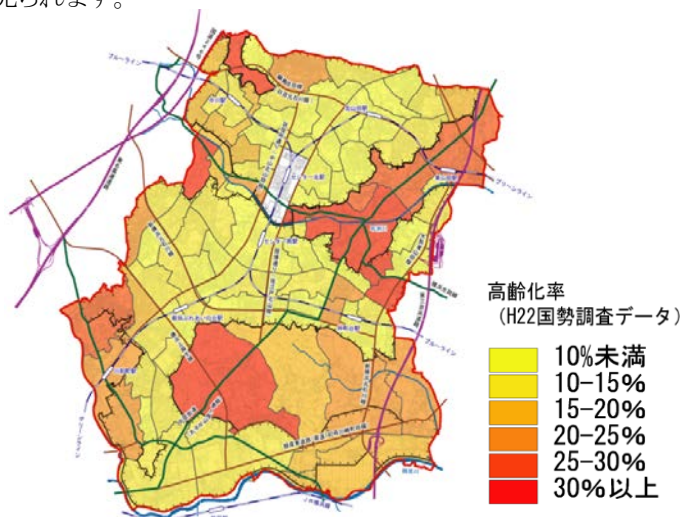
2. 平均年齢の若いまち(年齢別人口割合の推移)

都筑区は年少人口の割合が全市と比べて高いまちとなっています。また平均年齢も平成26年1月時点で、40.1歳(全市44.4歳)と市内ではもっとも平均年齢が低い区となっています。



3. 地域によって年齢構成の異なるまち(区内の高齢化率(H22))

高齢化率(65歳以上)は、都筑区平均で13.3%と全市(20.0%)と比較してかなり低くなっていますが、市街化調整区域を中心に高い地区も見られます。



4. つながりが求められるまち(自治会・町内会加入率)

全市の自治会・町内会加入率は年々下がっており、都筑区も転入者が多く、下降傾向が続いていましたが、加入促進の取組を強化した結果、平成23年から向上しています。

